

平成 19 年度 陵墓関係調査報告

陵 墓 調 査 室

調査の概要

当調査室では、「周知の遺跡」となっている陵墓において、保全・整備のための土木工事などを実施するに際し、施工区域・箇所における遺構・遺物の有無を確認し、工法の決定に資するために事前調査・立会調査を実施している。平成 19 年度においても、各陵墓監区事務所や京都事務所などの関係機関、さらには地元教育委員会とも協力し、以下の区域・箇所において調査をおこなった。その概要を記すことにする。

〔事前調査〕 1 件

古代高塚式陵墓に限っていえば、例年、翌年度に施工が予定されている墳塁裾の護岸工事などの特別営繕工事箇所の事前調査を実施するところであり、今年度は河内大塚陵墓参考地が対象となるはずであった。しかし、河内大塚陵墓参考地で予定されている工事は渡土堤の護岸がメインであり、しかもその南側については昭和 40 年代前半にすでにコンクリート擁壁が設置されているところである。その際の工事や調査の記録は見あたらないが、葺石や埴輪が出土したとも確認していない。また、濠水を落水する関係もあり、施工中の本部立会調査で対応することにした。

古代高塚式陵墓以外では、次の陵墓の事前調査を実施している。

1 深草部事務所(京都市伏見区深草坊町 深草北陵内)改築予定地における調査

桃山監区、6・7月実施、担当：加藤一郎・藤本 寛・平尾伸也

報告文は後掲する。

〔立会調査〕 25 件

2 上野輪王寺宮墓地(東京都台東区上野公園 寛永寺両大師内)外構塀改修その他工事に伴う調査

多摩監区、3月実施、担当：有馬 伸

報告文は後掲する。

3 阿保親王墓(兵庫県芦屋市翠ヶ丘町)外構柵改修工事に伴う調査

桃山監区、7・8月実施、担当：加藤一郎・坂部泰生・山本忠浩・北村浩二

報告文は後掲。

4 懐良親王墓(熊本県八代市妙見町)参道整備工事に伴う調査

桃山監区、8月実施、担当：玉石直裕・山本忠浩・松岡長紀

参道の東西各側溝沿いに擬木柵を設置することとなり、その基礎掘および埋戻しに立ち会った。その結果、すべて参道整備時の盛土であると考えられた。また遺物も出土しなかった。

5 桃山陵墓地(京都市伏見区桃山町古城山)下水道管布設工事に伴う調査

桃山監区、8～11月実施、担当：有馬 伸・高橋秀明・宮田一弘・中川幸延・松岡和男・山本忠浩・山田昭彦・森下利光・舛吉悠也

報告文は後掲する。

6 仁明天皇深草陵(京都市伏見区深草東伊達町)駐車場入口改修工事に伴う調査

桃山監区、12月実施、担当：藤本 寛・森岡正則・三木善明

車止めポール設置に伴い、2箇所の基礎掘と埋戻しに立ち会った。いずれも駐車場整備時の盛土であった。遺物は出土しなかった。

7 桃山陵墓地(京都市伏見区桃山町古城山)弱電線管路改修その他工事に伴う調査

桃山監区、1月実施、担当：山田昭彦・高橋秀明

桃山陵墓監区事務所とその北側に位置する御休所間の弱電線管路、およびハンドホールの敷設工事に伴う掘削・埋戻しに立ち会った。今回の掘削箇所には、他に電気・排水管等も埋設されており、その際の埋戻し土や参道整備時の盛土内の掘削にとどまった。掘削中に瓦片13点が出土している。いずれも、燻瓦の小片である。

- 8 嵐峨天皇嵐峨山上陵(京都市右京区北嵐峨朝原山町)鳥居改築工事に伴う調査

桃山監区、1・2月実施、担当：玉石直裕・高瀬繁伸

鳥居の基礎の掘削・埋戻しに立ち会ったが、在来鳥居の基礎埋め戻し土がほとんどを占め、その下は明黄褐色の地山であった。遺構・遺物は認められなかった。

- 9 以仁王墓飛地い号(京都府木津川市山城町綺田)擬木柵設置工事に伴う調査

桃山監区、2月実施、担当：篠崎秀雄・桐山洋介

四周を巡る擬木柵を設置することになり、基礎の掘削と埋戻しに立ち会った。その結果は整備時の盛土層のみであり、遺物は認められなかった。

- 10 後三条天皇圓宗寺陵(京都市右京区竜安寺朱山 竜安寺内)鳥居改築工事に伴う調査

桃山監区、2・3月実施、担当：今井隆太朗・妹尾吉紹

基礎部の掘削・埋戻しに立ち会った。在来鳥居の基礎埋戻し土がほとんどで、その下に明黄褐色の地山が確認できた。遺構や遺物は認められなかった。

- 11 玉津陵墓参考地飛地い号(兵庫県神戸市西区王塚台4丁目)外構柵改修工事に伴う調査

桃山監区、3月実施、担当：有馬 伸

報告文は後掲する。

- 12 英照皇后後月輪東北陵(京都市東山区今熊野泉山町 泉涌寺内)第二鳥居改築その他工事に伴う調査

月輪監区、10～12月実施、担当：藤井 純・堀井 清

扉付神明鳥居、およびそれに取り付く透塀の控柱のそれぞれの基礎部の掘削・埋戻しに立ち会った。鳥居については、既存コンクリート基礎を再利用することになり、掘削は表土下0.3m弱の埋戻し土内に止まった。また、透塀控柱部分については土層は3層に分かれ、上から表土、透塀構築時の埋戻し土(栗石を多く含む)、地山であった。遺物は確認されなかった。

- 13 桂宮西ノ墓地(京都市上京区相国寺門前町 相国寺内)ほか土塀改築その他工事に伴う調査

月輪監区、1月実施、担当：加藤一郎・奥野 肇・寺岡慎太郎

報告文は後掲。

- 14 傍丘部事務所(奈良県香芝市今泉 武烈天皇陵内)改築工事に伴う調査

畝傍監区、11・12月実施、担当：有馬 伸・松岡隆行・堂園雅章・北村 豊

報告文は後掲する。

- 15 孝安天皇玉手丘上陵(奈良県御所市大字玉手)鳥居改築工事に伴う調査

畝傍監区、11・12月実施、担当：本多 均・上原孝浩

鳥居の基礎の掘削・埋戻しに立ち会った。従前の鳥居の基礎よりもやや広範囲を掘削することになった。そのほとんどは旧鳥居の基礎の埋土であったが、旧鳥居の堀方外と床面付近では地山を確認した。遺構・遺物は認められなかった。

- 16 光仁天皇田原東陵(奈良市日笠町)鳥居改築工事に伴う調査

畝傍監区、1・2月実施、担当：池西良和・仲田裕行・瀬尾義弘・徳永真明

鳥居改築および葛石の据え直し工事に伴い掘削が行われる部分について立ち会ったが、いずれの掘削箇所も拝所の造成時の盛土であった。遺物は出土しなかった。

- 17 後醍醐天皇塔尾陵(奈良県吉野郡吉野町大字吉野山字塔ノ尾 如意輪寺内)防災整備工事に伴う調査

畝傍監区、1～5月実施、担当：多田京介・南 義孝・三井朋宏・西村寛治

防災整備工事に伴い、後醍醐天皇陵と世泰親王墓の整備工事に伴う掘削等に立ち会った。具体的には後醍醐天皇陵の鳥居改築、一般拝所石垣改修、特別拝所前階段・玉垣改修、墳塋裾石垣・玉垣改修、世泰親王墓墓前一般拝所石垣改修工事などである。とりわけ、後醍醐天皇陵の鳥居改築にあたっては、かなりの広範囲(長さ約3m×幅約5.5m×深さ約1.8m)を掘削した結果、本来東側から緩やかに下降していた旧地形を大規模に造成している状況が確認できた。遺物は認められなかった。

- 18 陵西陵墓参考地飛地は号(奈良県大和高田市大字池田)境界標識埋設工事に伴う調査

畠傍監区、2月実施、担当:松岡隆行・堂園雅章・畠山伊透・北村 豊

本工事は大和高田市が発注したものであるが、陵墓地の一部用途廃止による境界線変更に伴い、境界標識を新設する必要が生じたため、その掘削等に立ち会ったものである。掘削箇所は、いずれも搅乱土であった。遺物も認められなかった。

- 19 欽明天皇檜隈坂合陵(奈良県高市郡明日香村大字平田)参道ほか整備工事に伴う調査

畠傍監区、3月実施、担当:芳村弘士・濱本厚志・本多 均・上原孝浩

参道舗装とその付随工事に伴う掘削・埋戻しに立ち会った。掘削深度は約0.2mであり、いずれも周囲一帯の造成土内にとどまった。遺物も確認できなかった。

- 20 用明天皇河内磯長原陵(大阪府南河内郡太子町大字春日)車止改修その他工事に伴う調査

古市監区、8月実施、担当:古河稔也・須藤周太・佐々木靖秋

本陵の外堤の東側の車止の基礎部の掘削・埋戻し時に立ち会った。表土(参道の砂利)と参道整備時の盛土を確認したのみで、地山や遺構・遺物は検出されなかった。

- 21 清寧天皇河内坂門原陵(大阪府羽曳野市西浦六丁目)堆積土除去その他整備工事に伴う調査

古市監区、12月実施、担当:清喜裕二・川添 悟・北田雄三・古河稔也・富賀 稔・近藤時男
報告文は後掲する。

- 22 応神天皇恵我藻伏崗陵(大阪府羽曳野市誉田六丁目)鳥居改築工事に伴う調査

古市監区、12月実施、担当:近藤時男・北田雄三

鳥居基礎の掘削・埋戻しに立ち会った。既存の基礎を再利用することとなったため、掘削は昭和55年度における鳥居改築時の埋戻し土内にとどまった。遺物は確認されなかった。

- 23 聖徳太子磯長墓(大阪府南河内郡太子町大字太子 叡福寺内)結界石据え直し工事に伴う調査

古市監区、2月実施、担当:加藤一郎・佐々木靖秋・須藤周太

報告文は別掲「聖徳太子磯長墓の墳丘・結界石および御靈屋内調査報告」に収録。

- 24 履中天皇百舌鳥耳原南陵(大阪府堺市西区石津ヶ丘)参道入口車止改修工事に伴う調査

古市監区、2月実施、担当:小谷武史・笛尾佳裕

掘削・埋戻しに立ち会ったが、掘削は参道整備時の盛土および搅乱土層内にとどまった。出土品も認められなかった。

- 25 允恭天皇恵我長野北陵(大阪府藤井寺市国府一丁目)外構柵改修その他整備工事に伴う調査

古市監区、3月実施、担当:清喜裕二・近藤時男・北田雄三・安岡徹悦

報告文は後掲する。

- 26 応神天皇恵我藻伏崗陵駐車場(大阪府藤井寺市古室)車止改修工事に伴う調査

古市監区、3月実施、担当:川添 悟・北田雄三

駐車場出入口の車止の掘削・埋戻し時に立ち会った。掘削は駐車場整備時の整地層およびそれ以前の旧表土層内にとどまった。遺物も出土しなかった。

また、平成19年度には以下のようないくつかの調査も実施した。

[墳丘調査] 2件

- 27 聖徳太子磯長墓(大阪府南河内郡太子町大字太子 叡福寺内)

古市監区、1・2月実施、担当：清喜裕二・加藤一郎・佐々木靖秋・須藤周太・山本良文・吉河稔也
墳丘の写真撮影・地形測量(縮尺1/100・25cm等高線)を実施するとともに、御靈屋内の現状調査もおこなった。その結果は、平成16年度に実施した下段結界石の銘文調査などの成果と併せて、別掲の「聖徳太子 磯長墓の墳丘・結界石および御靈屋内調査報告」に収録する。

28 来目皇子埴生岡上墓(大阪府羽曳野市はびきの三丁目)

古市監区、2月実施、担当：清喜裕二・加藤一郎・浅井良寛・安岡徹悦・山本良文・中辻 武
墳丘の写真撮影・地形測量(縮尺1/100・25cm等高線)を実施した。報告文は、別掲「来目皇子 境生岡上墓の墳丘外形調査報告」に収載する。

〔地中探査〕 1件

29 藤井寺陵墓参考地(大阪府藤井寺市津堂)

古市監区、12月実施、担当：徳田誠志
境界線付近が侵食されており、その崩落防止や外構柵設置工事のためのデータを得る目的で実施したものである。詳細は、別掲「藤井寺陵墓参考地における地中探査報告」を参照願いたい。

〔文献調査〕 1件

30 十念寺(京都市上京区鶴山町)・大聖寺(京都市上京区鶴山町 大歓喜寺内)

月輪監区、2月実施、担当：北條朝彦・藤井良章・西村英樹
十念寺境内には後陽成天皇皇子の高雲院墓、また、大聖寺宮墓地には正親町天皇皇孫女の永邵女王墓など9墓1塔があり、その関連資料の調査をおこなった。残念ながら、良好な資料には恵まれなかった。

〔所蔵出土品関係資料調査〕 2件

31 若狭歴史文化館(福井県三方上中郡若狭町)

2月実施、担当：清喜裕二
当部に保管されている若狭町(旧遠敷郡上中町)脇袋所在の西塚古墳出土品の来歴調査の一環として、同町歴史文化館(文化財室)所蔵の『古墳調査書類』等の調査を実施した。

32 花園大学(京都市中京区西ノ京壺ノ内町)・天理大学附属天理参考館(奈良県天理市守口堂町)・奈良県立橿原考古学研究所附属博物館(奈良県橿原市畠傍町)

3月実施、担当：加藤一郎
花園大学では巨幡墓周辺で出土した埴輪類、天理参考館では仁徳天皇陵や小奈辺陵墓参考地出土埴輪など、さらに、橿原考古学研究所附属博物館では宇和奈辺陵墓参考地旧陪冢ろ号大和6号墳出土鉄鋌の実測調査等をおこなった。
(福尾正彦)